

## 教えて考えさせる授業 構想シート

|     |                           |       |   |     |  |
|-----|---------------------------|-------|---|-----|--|
| 教 科 | 国語                        | 年・クラス | 1 | 指導者 |  |
| 授業日 | ( 9 ) 月 ( 24 ) 日 ( 木 ) 曜日 |       |   |     |  |

習得型の授業における「主体的・対話的で深い学び」⇒「学習者基点の能動的な深い学び」

|       |            |
|-------|------------|
| 【单元名】 | 事実と考えを区別する |
|-------|------------|

|                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 【本時の目標】<br>本時（1 / 1）      | 事実と考えを持たせる方法に気付こう    |
| 【めざす子どもの姿】                | 事実か考えなのかを意識して情報と接する。 |
| 【困難度査定】<br>(つまずきのポイント)    | 事実と考えの区別がつかない        |
| 【指導上の工夫】<br>(つまずきに対する手立て) | 日常の具体例を取り入れる         |

|  |   |
|--|---|
| <b>予習</b> (家庭学習等)<br><br><small>本時の学びにどんな課題を持って授業に臨ませたいか<br/>※教科書を読んてくる程度でも良い</small>    | 新聞を読んてくる。<br>ニュースを見んてくる。                                |
| <b>教える内容</b> (20分)   | どうすれば事実と考えを持たせることができるか。                                 |
| <b>理解確認課題</b> (10分)<br><br><small>教えた内容が分かったかどうかを確認するための学習内容及び方法<br/>※ペアで説明し合う活動</small> | ※ほぼ全員が達成できることを目標にする内容<br>① 他の具体例で考える。                   |
| <b>理解深化課題</b><br><br>(10分)   | ※グループ活動の活用を通して最終的に80%が説明できる程度の内容<br>① 自分の言葉で説明することができる。 |
| <b>自己評価</b> (5分)<br><br><small>ふり返りて子供たちに記入させたい文章のイメージ</small>                           | ※<br>何が分かって(できて)、何が分からなかった(できなかった)のかを記述させる              |